

## 美人画

私の最も好きな美人は

焼失した法隆寺金堂六号壁の観音菩薩像です。

菩薩の暖かさは人に母や姉を思い出させます。

左の絵は京画のイメージを手書きしたものです。



そして、  
フェルメールの「ターバンを巻いた少女」も  
好きな女性の一人です。

こちらは、絵描きである父の愛情があふれた  
筆跡と

純粋な娘の表情が

何とも言えない清純な美しさを  
しめています。

幸いフェルメールの像は「フェルメールウェア」から  
リンクできますので、

左に像を引用し、

解説はここをクリックしてもらいましょうが、  
この解説では「真珠のイヤリングの少女」に  
なっています



私が始めて

『美』を意識したのは、

アングルの『泉』のカラー図版を

かいま見た時でした。 小学校五年生の頃です。

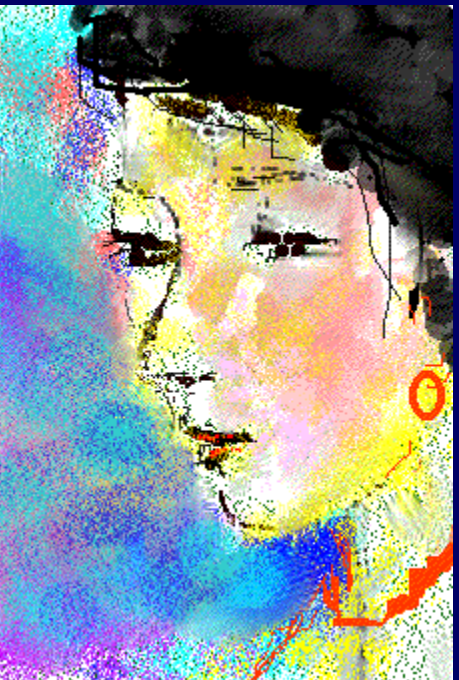
人物画を描くため、先生から画集を見せて  
もらった時です。

清純な表情と、理想化されたフォルムがまぶしく  
一瞬のうちに眼底に刻み込まれました。

中学三年の十月、東京へ転校しました。  
新聞少年の高校時代、

近所に某国立大学の医学生が  
日展に入選して、あと一年で卒業の時、  
絵描きの修行に渡仏しました。

私は衝撃を受けました。  
行く道をも変える芸術とは、、



## 美人画

左の絵はこのパソコンで描いた  
筑波美人です。

描き方を**電腦画伯の絵画教室**に  
のせます。

